

国外研究成果報告書

1. 研究課題

広東省四邑地域出身の渡米移民の結婚・家族・表象—民謡と木魚書を史料として

2. 研究場所および日程

- ・ホテル（検疫のため、2020/4/3-18; 2021/1/7-28）：文献の読解
- ・香港中文大学図書館（2020/4/20～、COVID19 感染拡大期間を除いて平均週1, 2回）：資料の調査、貸借、分析、複写、ILLの利用
- ・香港大学図書館（2021/2/1～、COVID19 感染拡大期間を除いて平均週2, 3回）：資料の調査、貸借、分析、複写
- ・自宅（2020年4月19日—2022年3月24日）：資料の調査、文献の読解と分析、専門家とのオンラインミーティング、論文の執筆

3. 研究活動概略

2020年度の研究活動概要：

19世紀中葉に中国広東省珠江流域各地より海外へ渡った中国人移民の結婚・家庭制度、および教育制度・詩作の慣習を中心に、従来の研究動向と今後の研究の方向性を整理した。また、本研究に関連する史跡や博物館の視察を行い、ディアスポラの中国人コミュニティをご専門とする中文大学教授から講義を拝聴した。これらに加え、本研究を遂行する上で不可欠であることから、余力のある範囲内で広東語の習得に努めた。

2021年度の研究活動概要：

本研究のテーマを、19世紀中葉から20世紀初頭にかけて中国広東省四邑地域（台山、開平、新會、恩平）よりアメリカ合衆国カリフォルニア州へ渡った中国人移民の結婚・家族制度とそれに付随してつくられた彼らとその妻たちの表象の変遷に絞り、当時の四邑地域と在米華僑社会で交換され、親しまれていた大衆文芸を分析しながら考察した。中でも当時の四邑地域と在米中国人社会をつないで、移民の結婚や家庭生活を題材に謳われた民謡、詠まれた詩歌、出版・購読された大衆小説（木魚書）を主要な一次史料とし、これら文芸作品を収集・読解・分析し、研究の成果を学術論文「(仮称) 渡米移民と四邑の妻の間の大衆文型—民謡と木魚書の中の『金山婆』」にまとめた。これらに加え、本研究を遂行する上で不可欠であることから、余力のある範囲内で広東語の習得に努めた。